

歴史探訪

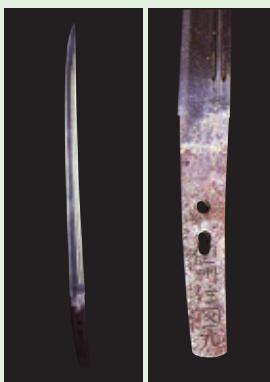
～文化財を巡る～⑩

「美術工芸品(工芸品)」.....

美術工芸品のうち、市で工芸品として指定されているものは国指定1点、県指定1点、および市指定18点です。刀剣類と、神社や寺院に奉納されている神具や仏具などのほか、歴史上あるいは芸術上貴重な調度品や甲冑類なども工芸品として指定されています。

わきざし めいたんしうじゅうくにみつ ほか ばんじ
脇指 銘但州住国光(外ニ梵字アリ)
(国指定)出石町宮内・出石神社

全長39.2cmの脇指。但馬に住む国光という
刀鍛冶が作ったという文字が茎に刻まれてい
ます。また反対側には
梵字もあり、南北朝時代に製作されたと考
えられています。明治
14年(1881年)に、天気
予報の創始者として
知られる桜井勉が出
石神社に寄進し、現在
まで大切に伝えられ
てきました。



せいどうみきょうはうぐ
青銅密教法具ほか 附 越前焼甕
(市指定)竹野町羽入・觀音寺(両界院)

観音寺の墓地から出土した甕の中に、法具(仏具)が一緒に入れられていました。法具は鎌倉時代前半のものですが、甕は鎌倉時代後半に作られたとみられることから、寺僧が埋葬される際に、代々伝わってきたものを供え



たと考えられます。一括の出土品として、また美術品としての価値も高いとされています。

語句の解説

- ・**脇指**…1尺(30.3cm)以上2尺以下の刀で、刀と同様、腰に指す。脇差ともいう。
 - ・**茎**……刀身の柄に被われる部分。銘を刻むところで、柄を止める目釘穴があけられる。

工芸品によっては、拝見できない場合もあります。

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見てていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎ 23-1160

(県指定)日高町赤崎・進美寺

直径66cm、厚さ25.7cm、重さ48.8kgにもなる大きな鰐口です。中央部分には繊細な蓮華文様が鋳出されています。右側に寺名と、左側に明徳3年(1392年)に、進美寺の僧侶であった幸円が願主となって寄進したと刻まれています。その大きさ、古さ、また形状や文様などが秀でています。



たくあんおしょうゆめみかね
沢庵和尚夢見の鐘
(市指定)出石町東条・宗鏡寺

鐘には、長享2年(1488年)に宗寿という女性が、大工藤原宗次に作らせたと刻まれています。この鐘は、沢庵和尚が「投淵軒」に住んでいたころ、三木村に鐘が埋まっているので掘り起こすようにとの夢を見て、次の日に掘り出して持ち帰ったとされています。このいわれから、夢見の鐘として大切にされてきました。



- ・**梵字**…仏教では神聖な文字とされているもの。
 - ・**鰐口**…社寺の拝礼所につるしてある円形で扁平な金属製の音具。一緒につるされている縄で叩く。